

ちよだ 区議会 だより



No. 252

令和3年5月14日
編集：区議会だより編集委員会
発行：千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 03-5211-4297 (直通)
ファクシミリ 03-3288-5920

第1回 定例区議会



一般社団法人 千代田区観光協会 第5回東京大回廊写真コンテスト 佳作「日比谷の春」増田ヒロ子

トップニュース

Top News

令和3年度千代田区一般会計予算を可決

■総額は627億7,876万円で、前年度当初予算に比べ、2.9%、18億4,700万7千円の減額となりました。(詳細は8ページをご覧ください。)

令和3年度千代田区一般会計補正予算第1号を可決

■PCR検査助成や新型コロナウイルスワクチン接種対策として、補正前の額、627億7,876万円に11億7,293万1千円の予算額が追加されました。(詳細は8ページをご覧ください。)

お知らせ

1月31日に区長選挙と同時に
行われた区議会議員補欠選挙に
より、新たに区議会議員となった
大坂隆洋^{たかひろ}議員の議席番号および
所属委員会がそれぞれ議長より
指定・指名されました。

大坂 隆洋
企画総務委員会
景観・まちづくり特別委員会
文化財保存・活用特別委員会



また、企画総務委員会(2月16日開催)、保健福祉委員会(2月15日開催)において、新たな委員長が次のとおり
選出されました。

企画総務委員長 桜井 ただし、保健福祉委員長 嶋崎 秀彦

主な内容

- 代表質問 2面
- 一般質問 3～ 5面
- 定例区議会活動報告等.. 6～ 7面
- 予算特別委員会 8面
- 本会議における討論等 9面
- 議案の審議結果等 10面

提案された議案等

◆区長提出議案

- ・ 予算 6件
- ・ 条例 11件
- ・ 契約 1件
- ・ 人事 3件
- ・ 報告 1件

◆議員提出議案

- ・ 意見書 1件

◆その他

- ・ 請願 1件



●ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



●メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)

*区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局
☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。
区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和3年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党

内田 直之

樋口区長の公約と区政運営

問 ①石川区政の継承と課題に対する認識を問う②公約の区長報酬2割減額について、報酬審議会の答申を踏まえず条例改正することへの見解を問う。

答 ①石川区政では他の自治体の先駆けとなる施策を展開してきた。この後を受け、現下のコロナ禍の打破に向けて区政を進めていく②区長給与減額措置は、区長の自主的な政治判断に基づき期間を定めて行うものである。

新型コロナウイルス感染症対策

問 ワクチン接種体制を短期間で確実に構築するため、最初に接種する高齢者へのサポートや、ワクチンに関する質問・不安に対応する仕組みが必要では。

答 高齢者あんしんセンター等と連携して周知活動や説明を行っていく。また、相談窓口やコールセンターを開設し、相談体制を充実させる。

地区計画の見直しについて

問 ①都市計画マスタープラン改定に伴う地区計画の見直し方針と、具体的なスケジュールを問う②地域での合意形成の具体的な手法について。

答 ①今回の改定を踏まえ、今後、地区計画の見直しの検討に着手する。対象地域や検討体制、合意形成のスケジュール等、令和3年度中に示す②現行計画の周知に加え、制度や地域特性等のデータをわかりやすく共有する等、合意形成に向けた工夫を図る。



日本共産党区議団

木村 正明

新区長の政治姿勢について

問 区長は招集挨拶で「区民と顔が見える関係を築き、共に魅力あるまちをつくりたい」と述べた。この立場を堅持し耳の痛い話にも区民と直接向き合う機会を設けるよう求める。

答 区民の貴重な意見に耳を傾けながら共に魅力あるまちをつくりたい。

新型コロナ対策について

問 ①ワクチン頼みにはできない。高齢者施設等の無症状感染者を含めた検査の間隔短縮を②自粛と一体の補償として区独自の直接支援を求める。

答 ①区では独自におおむね3カ月ごとに検査を実施している。都の助成事業を利用することで検査間隔の短縮も可能と考えている②ウィズ・アフターコロナを見据えた地域経済全体を活性化させる施策の検討が必要と考える。

地方行政のデジタル化について

問 国が進めるデジタル法案は、自治体が定めたサービスシステムや個人情報保護基準を国の鋳型に当てはめようとするものだ。これは自治権を侵害し、行政サービスを後退させることにならないか。

答 区民の個人情報を預かり行政サービスを提供する立場として、国の動向を注視しつつ、引き続き区による個人情報資産の管理、運用を心掛ける。

上場企業の個人情報漏えい・紛失事故 年次推移



公明党議員団

米田 かずや

樋口新区長のスタートにあたり

問 ①区における人口増加や多子高齢化、コロナ禍での社会経済状況など区政課題にどう取り組むのか②区議会との関係性をどのように構築するのか。

答 ①コロナ禍に打ちかつことに全力を尽くす。区民等様々な意見を吸い上げ行政ニーズを把握し、財政バランスを考慮しながら解決していく②互いの信頼関係に基づき、建設的な議論を行い、共に区政を進めていく。

コロナウイルス対策について

問 ①希望する区民へスムーズにワクチン接種を行うための進め方は②社会的孤立者に対し、区だけでなく関係省庁や民間団体と連携して自立支援に繋げてはどうか。

答 ①最新の情報を提供し、ワクチン接種に関する不安や懸念に対応するため、相談窓口とコールセンターを開設した②介護や子育て、生活困窮等複合的な事案に対し、関係各所と連携を図り社会との繋がりを感じる支援を行う。



35人学級について

問 小学校全学年を35人学級とする国の方針を受け、今後の取り組みや課題は。

答 方針に従い、順次実施していく。教室不足や教員確保等が課題であり、今後国で予算化される財源や検討会議の報告も踏まえ対応していく。

令和3年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

大串 ひろやす (公明)



「千代田の新時代」へ 新たな基本構想の策定を！

問 区長が選挙公約として掲げた「千代田の新時代へ」に対し、多くの区民は是非とも築いてもらいたい、また共に築いていきたいと期待し希望を託したことと思う。そのことに応えるため新時代構築へ区政運営の基本的な理念や目標、そして方針を基本構想として策定することを提案する。区民の理解と協力なくして千代田の新時代を築くことはできないからである。希望の構想である。所見は。

答 現在、社会はコロナにより時代の大きな転換期を迎えている。その流れを見極め千代田の将来像を描いていく。まずは最優先課題であるコロナ対策に注力しつつ、千代田の新時代への新たな基本構想の策定について、そのあり方も含め庁内で議論する。



永田 壮一 (自民)



環境政策について

問 地球温暖化対策としてCO₂削減目標を設定し予算を支出しているが、科学的根拠がなく、効果がみられない。現実的で実効性のある省エネ家電の更新助成や、遮熱、保水舗装といったヒートアイランド対策を行うべき。

答 建築物の省エネ推進の徹底と再生可能エネルギーの利用の推進によりCO₂の削減が可能であると考えている。計画を改定する際は、科学的根拠を示し、区民の理解と共感を得られるよう努める。環境と経済の調和のとれた脱炭素社会の実現を目指す。



河合 良郎 (自民)



世論調査と特別区制度について

問 ①現在の世論調査のやり方では、区民の意見や意向が施策に反映されにくい。幅広くタイムリーに広聴する、新たな方法を考える必要があるのでは②区の職員は特別区制度により区独自に採用できない。地域特性を踏まえた行政運営が求められている中、専門性のある職員を区独自で採用できるよう裁量権を拡大した制度が必要では。

答 ①現行の調査方法では、昼間区民の声やタイムリーな情報が入手できない等の課題がある。SNSの活用など工夫をしていく②経験者採用試験など現存制度を活用し、専門的なスキルを持つ職員の確保と育成に努める。



大坂 隆洋 (自民)



中小企業支援施策について

問 ①積極的な融資による支援は評価できる一方、今後は、融資された運転資金が返済できるよう、今まで以上に丁寧な支援が必要では②緊急事態宣言解除後、早期に景気対策を行い、経済を活性化させる必要がある。地域事情に即した支援施策として、期間限定のプレミアム商品券の発行等検討を③リモートによるオンライン相談を選択できるように窓口の体制整備を。

答 ①資金繰りの支援策として借り換え資金を創設し、小規模企業支援特別資金を活用した事業者には中小企業診断士が訪問するフォローアップ支援等を実施する②地元店舗での消費喚起として電子決済によるポイント還元等を検討する。また、事業転換等の新たな取り組みを支援する補助金等を実施する③区の業務のデジタル化の一環として、前向きに検討する。

うがい友義 (自民)



三密を回避するウォカブル推進都市

問 道路という空間資産は、地域コミュニティや魅力創出に活かすことはもちろん、ポストコロナ社会を踏まえた三密回避の利活用にも意味を持つ。パークレット等の社会実験などを取り入れ、道路空間というグランドレベルの新たな可能性を、千代田区らしいウォカブルなまちづくりに活かしてみては。

答 ウォカブル推進都市にエントリする中で、地域の将来像や課題に対応しながら、多様な都市計画手法や都市づくり施策を組み合わせ、居心地よく歩きやすいまちを、本気度をもって積極的に目指していく。



パークレットの事例 写真提供 泉山聖威(日本大学助教ハトノバ)

令和3年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

西岡 めぐみ (自民)



新型コロナワクチン接種の体制

問 ①幼児と一緒に接種会場にお越しの保護者対応として、会場内に託児スペースを確保する等、区民が安心して接種出来る環境整備が必要では②接種後の中長期的なアフターフォロー支援体制は。

答 ①関係機関と連携し、柔軟な対応を検討する②コールセンターを設置し接種前、接種後の相談体制も確保する。

子どもの孤立化防止サポート

問 コロナ禍における子どもたちの自己肯定感や自尊感情向上のため、民間とも連携し子どもたちに寄り添った支援を。

答 きめ細かな支援を継続的に行える体制整備と周知に積極的に取り組む。



心のケアやサポートの一例(たいわ室、ガイドブック)

小枝 すみ子 (声)



「百条調査は不毛」発言の真意

問 開発許認可権を持つ区長と利害関係者との行為はコンプライアンスに関わる重大事案である。区長にその認識はないのか。

答 より高い倫理観を持って区政運営に当たることが区民の信託に応えることになると考える。

区民不在、数々の事例

問 平河町仮住宅の追加工事の問題、日比谷の再開発問題、いずれも議会への報告もせずに事務を進めてきた。このような区政運営について区長の見解は。

答 議会からの厳しいご指摘等を重く受け止め、事務の改善に取り組む。



飯島 和子 (共産)



申請しやすい生活保護制度に

問 ①制度の理解、周知のためにしおりの作成を②扶養照会は申請者が認めた場合に留めよ③専門性と熟練度を兼ね備えた人員を配置し、丁寧な対応を④住所不定者はNPOと連携し対応を。

答 ①他の困窮者支援を含め、しおり作成に向け検討する②申請者に配慮をした上で、法の趣旨に則り適切な対応に努める③社会福祉士等の有資格者を配置し、専門研修やOJTで対応力向上に努めている④引き続きNPOと連携した居住支援について検討する。

ジェンダー平等と区長公約

問 女性活躍はジェンダー平等の実現でこそ可能である①選択的夫婦別姓制度の見解は②ちよだ女性会議の構想は。

答 ①様々な機会でご区民に問いかけ、世論の醸成を見極めながら施策を展開する②早急に検討し、具体化していく。

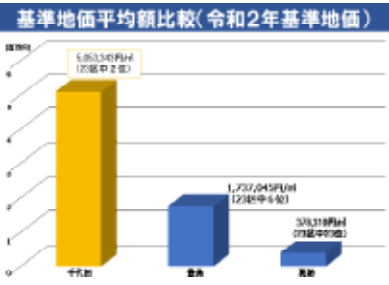
林 則行 (自民)



コロナ禍、都知事との連携で固定資産税減免を要請できるか

問 家業として営む飲食店や個人商店等の固定資産税は、納税猶予や軽減制度の対象外であり、納税の負担が大きい。コロナ禍が続く現在、区の固定資産税の減免について、都知事と連携して実現するよう要請できるか。

答 「公平・中立・簡素」が租税の原則であり、対象地域を限定した固定資産税制度の改変は、区と都だけでできるものではない。一方、区民の経済負担軽減の必要性は高く、都や国と連携しながら、実施できる施策を着実に進めていく。



牛尾 こうじろう (共産)



自殺対策を行うNPOへ支援を

問 自殺対策を行う区内NPO法人にもコロナ禍で多くの相談が寄せられているが、運営は厳しい状態である。区の自殺対策の一環として、活動費の補助等支援策が必要では。

答 区内の様々な活動団体との連携は重要であるが、NPO法人の事業の対象者には区民以外も含まれるため、助成は難しいと考えている。

コロナで苦しむ飲食店へ支援を

問 家賃など固定費の負担に苦しんでいる飲食店や関連事業者へ、区独自の固定費補助の検討を求める。

答 国や都の様々な給付があり、現状の給付金に加え区独自の給付を行うことは考えていない。飲食店関連など一部の事業者だけではなく、地域経済全体を活性化させていく施策の検討が必要と考える。



令和3年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小野 なりこ (都ファ)



誰も取り残さないデジタル化

問 デジタル化が進むなか、情報格差の解消への支援体制が必要では。

答 地域のNPOや通信事業者と連携を図り、デジタル機器の利用促進に向けた普及・啓発活動を推進する。

発災時の避難所情報を可視化

問 発災時、在宅避難が困難な区民や来街者も情報を入手しやすいように、避難所の開設及び混雑情報を可視化できるサービスの検討を。

答 避難所情報の可視化は有効である一方、一か所に集中して避難する等不要な混乱を避けるための対処と合わせて検討する。

混雑状況表示イメージ



岩田 かずひと (立民)



区内の高層建築物について

問 区は建築物の高層化を推進する動きである①高層化すればCO₂総排出量は増加する。環境を重んじる新区長の考えとは隔たりがあるのでは②突風等の風害に対し、検証をしているのか。

答 ①CO₂排出量は使用するエネルギーの種類等の影響を受ける。環境負荷の少ないエネルギーの利用でCO₂削減は可能である②事業者が当該区域における風の通り道の確保や風洞実験等を行う。その結果、適切な措置を講じていることを区が確認することになる。

猫殺処分ゼロ継続について

問 区では2011年から猫殺処分ゼロを達成し続けている。今後も殺処分ゼロを継続するための方策は。

答 区内の猫生息調査を行い、区民やボランティア団体と連携し飼い主のいない猫を増やさないよう取り組む。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



災害対策について

問 ①来年度、区が作成するハザードマップの冊子を家族の連絡先や医療情報等が記入できる防災ノートのようにしては②1階や地下にある、濡れると使用不可能な備蓄品はいつどこに移すのか。

答 ①今後の改定時等により充実させるよう検討する②コロナ禍の影響で時間がかかっているが引き続き取り組む。

風ぐるま利用者の要望に寄り添う

問 ①昨年実施した、利便性向上のためのアンケートで判明した問題点の改善時期は②ベンチの設置を求める声を聞き区議会でも会派要望を出した。なぜ、設置に時間がかかっているのか。

答 ①増便や双方向の運行等が求められており今年度中に運行協議会で議論する②歩道の幅員が十分でない等の事情がある。道路管理者と協議し安全確保可能な場合は順次整備を進めていく。

岩佐 りょう子 (立憲)



土地活用手続きの透明性確保

問 区有地活用に係る検討を区内部で完結させる手続きは合理性・妥当性の検討が充分とは言えない。意思形成過程に住民参加や第三者による専門的知見を加え透明性と公共性を確保すべき。

答 専門的第三者の視点を加えることや公開性を高めることで、透明性や客観性を強化する取り組みを行う。

望まない孤独への対策について

問 コロナ禍で深刻さを増す孤独・孤立問題に対し、社会的つながりを持つための支援としてコミュニティ支援事業を強化すべき。また深夜でもチャット等を利用し、相談できる体制整備を。

答 自殺予防に向けた普及啓発活動やゲートキーパー養成を行っている。また、コロナ禍におけるコミュニティ活動助成等の支援策を改善するなかでICT技術の活用を検討する。

桜井 ただし (自民)



ワクチン接種とサポート体制

問 接種前後の不安について相談できる体制づくりを行うべき。

答 不安な方には接種前にかかりつけ医等への健康状態や既往歴等の相談を勧め、接種会場には、接種後の状態観察のため医療従事者に待機してもらう。

コロナ禍の中での災害対策

問 区から支給された防災ラジオは震度5弱以上でないと機能しない。早く正確な情報をデジタル弱者にも同様に伝えることが必要だが、区の考えは。

答 避難不要な場合の情報発信や通常時の受信状態確認のため、防災ラジオを対象とする試験的な放送を検討する。



令和3年第1回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案12件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案7件のうち主な審査経過は以下のとおりです。

「千代田区長の給与の特例に関する条例」は、区長就任の日から令和4年2月28日までの間における区長の給与の額を約2割減額するため制定し、本年4月1日から施行するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、本条例の目的として、コロナ禍という未曾有の危機にあるこの状況を脱却し、山積する区政課題を前に進めていくという決意を示すために実施すること。総額として区長給与は約457万円の減額となること。千代田区特別職報酬等審議会は、第三者の立場から公平・公正な視点で特別職の報酬等の額の適否について意見を聞くものであり、今回の条例制定の目的を踏まえると、審議会への諮問はなじまないこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

区長は6万7,000人の区民のリーダーであり、約700億円の年間予算をしっかりと采配する役割は非常に重たく、一つ判断を見誤り、若しくは、判断が一日遅れただけでも億単位の損失を区民に与えるという重責を担わなければならない。報酬等審議会が公平性、透明性、客観性をもって決めている基準がある中で、区長自らの判断で年間457万円の給与を削減するという決意とは何なのかということについて、区民への説明責任が問われる。そうしたまやかしを区民に対して発信するというポピュリズムの姿勢、公約が区民を幸せにするのか大変疑問で、到底納得はできないため、反対する。

(小枝)

【賛成の意見】

区長が自らの政治姿勢を示すということで、区長選挙で報酬2割カットを公約に掲げ、当選後、その公約を実現すること自体は反対するものではない。しかし、区民や職員にもその痛みや我慢を押しつけるとなると、性格が全く異なってきてしまうので、そうなった場合には、徹底して区長と闘っていくことを申し述べ、賛成する。

(木村)

その他、「千代田区公共料金支払基金条例」、「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」、「東郷元帥記念公園改修工事請負契約の一部変更について」ほか3件の審査をしました。

地域文教委員会

議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区消費生活センター条例の一部を改正する条例」は、千代田区消費生活センターの移転に伴い、その位置を改めるものです。

〈審査経過〉

スペースが広くなることにより、職員の席や相談ブースの数が多くなり、動線に余裕ができ、職員の士気向上も期待できること。

建物は別になるが、千代田会館は本庁舎の目と鼻の先なので、これまでどおり、他部署との連携に支障はないこと。

移転について広報紙等で周知を徹底し、本庁舎や千代田会館に移転先の案内図を表示するなど、行先を間違う方がでないように努めること等が明らかになりました。

また、区からの報告のうち主な内容は以下のとおりです。

「令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況と点検及び評価(令和元年度分) 報告書」は、教育委員会が毎年、法律に基づき、事務の管理・執行について、学識経験者の知見の活用を図りつつ点検及び評価を行い、報告書を作成、公表し、議会にも提出するものです。

教育委員会所管26事業のうち、令和2年度は重点的に点検・評価するものとして、私立保育所等整備事業とICT教育の推進の2事業を選定し、評価をより有意義にできたこと。その他の事業でも、保育士の能力向上と園庭も含めた保育環境の改善による保育の質の向上、小学校の学区制検討や中学校の学校選択制による平準化の検討、更には35人学級に取り組むため教室不足への対応検討を行うことの報告がありました。

「新型コロナウイルス感染症対策に係る出産応援事業について」は、コロナ禍において子育て世帯を応援するための事業です。

内容は、令和3年1月1日～令和5年3月31日に子どもが生まれた世帯へギフトカードを送ることで、10万円相当の育児用品やサービス等を提供すること。併せてアンケート調査を行い、子育て世帯の状況やニーズの把握を行うこと。

実施日程としては、まず5月中に、今年1月1日～4月30日までに子どもが生まれた世帯へギフトカードを送り、5月以降に子どもが生まれた世帯へは、翌月に、ギフトカードを送っていくとの報告がありました。

常任委員会



保健福祉委員会

議案4件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区介護保険条例の一部を改正する条例」は、第8期介護保険事業計画の策定に伴い、令和3年度から令和5年度までの3年間ににおける第1号被保険者の介護保険料を定めるとともに、平成30年度の税制改正に伴う第1号被保険者に係る合計所得金額の計算方法を改めるほか、新型コロナウイルス感染症の定義に関する規定等を整備するものです。

< 審査経過 >

質疑の中で、基本保険料額の上昇を抑制するための所得段階区分を第7期と同様に15段階に細分化すること。紙おむつの支給、寝具乾燥サービス、訪問理美容、在宅支援ホームヘルプサービス等を介護保険特別会計ではなく一般施策で実施していること。介護給付費準備基金から3億円を繰り入れることなどの工夫をしたこと。その結果、基準月額第7期に対して100円増の5,400円となったこと等が明らかになりました。

< 討論 >

【反対の意見】

施設の整備や報酬を増やすことによって保険料に跳ね返るという、介護保険制度そのものが破たんをきたしている中で、区として一定の努力・工夫をしたことは認めるが、結果的には負担増であるため、反対する。(飯島)

【賛成の意見】

区ではこれまで同様、紙おむつの支給等を一般施策で実施し基準保険料の上昇を100円に抑えたことは大変評価する。高齢化社会に必要不可欠な介護保険制度の安定的な運営に努めてもらうことを求め、賛成する。(内田)

コロナ禍での改定となったが、介護保険で行うことができる事業を一般施策で実施したり、基金の取り崩しを行うことで介護保険料の上昇をできる限り抑えていることは大変評価できるものであり、賛成する。(大串)

施設の開設、紙おむつの支給、寝具の乾燥、ホームヘルプなどのサービスを低下させないようにするためには、100円の増額は仕方がないと思う。引き続き、区民のために努力していただきたいと思います、賛成する。(長谷川)

その他「千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」ほか2条例の審査と、「新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況について」等の報告がありました。

特別委員会



オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

コロナ禍ではあったが、昨年10月以降、オリンピックメダリストによる親子体操教室、パラスポーツの体験会等が盛況に行われたとの報告がありました。また、令和3年度に区が実施を予定している競技中継等の事業、区内で行われる聖火リレーの概要とその運営を支援するボランティアの募集、北の丸公園内の通行規制等の大会の区民生活への影響等について報告がありました。

景観・まちづくり特別委員会

地域まちづくりの動向として、地域の方々が自発的にまちづくりに関する勉強会等を実施している区内4地域から資料の提供をいただき、各地域で現状の課題を整理し、今後、賑わいや豊かさ、便利性等を求め、活発に議論されているとの報告がありました。また、「屋外広告物景観まちづくりガイドライン(素案)」に対するパブリックコメントの概要、2月に答申された「都市計画マスタープラン(改定案)」の今後の手続きに関するスケジュール等の報告がありました。

災害時要配慮者等対策特別委員会

去る2月8日に、福祉防災コミュニティ協会代表理事である鍵屋一氏を講師に招いて開催した勉強会「一般避難所での要配慮者が滞在する福祉スペース(福祉避難室)等」について、委員及び理事者からの意見・感想を聴きました。

また、災害時における福祉避難所の開設等に関する協定締結について、新たに3施設と協定締結したことの報告がありました。

文化財保存・活用特別委員会

文化財保護行政の様々な課題解決に向けて、令和2年度は組織目標に「文化財保護事業運営」を挙げ、収蔵システムの導入をはじめ、指定文化財台帳の整備やデータベース化、収蔵資料の整理、「千代田区文化財関係資料取扱要綱」の策定、文化財収蔵・展示環境の整備等に取り組んでいることが理事者から報告されました。



令和3年度 予算審査から

令和2年度補正予算1議案、令和3年度当初予算4議案及び補正予算1議案は、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、まず令和2年度補正予算として、千代田区特別支援給付金事務の経費縮減による減額、基金への新規積立等を審査し、賛成全員で可決しました。次に、令和3年度当初予算及び補正予算は、概要説明を受けたのち、企画総務、地域文教、保健福祉の3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査をしました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、当初予算4議案及び補正予算1議案は賛成全員または賛成多数でいずれも可決すべきものと決定しました。

〈当初予算に対する討論〉

【反対の意見】

本予算は、第1に地震対策の要となる家具転倒防止対策の支援策がないこと。第2に公共住宅への区民の切実なニーズに対応していないこと。第3にまちづくりにおいて、一極集中を推進する国や都の流れをコントロールする方策がないこと。第4に各特別会計における国保料の所得割、介護保険料の基準額等の引き上げは到底認められず、反対する。（牛尾）

外神田一丁目計画、神田小川町三丁目開発、麹町仮住宅の永田町駅出入口等様々な区政の矛盾、区民不在、コンプライアンスに対する区民から見た不信、疑念、矛盾が解決される目途は立っていない。職員コンプライアンスガイドラインを徹底し、区民と行政が信頼を持って向き合える日が来ることを期待するが、反対する。（小枝）

【賛成の意見】

分科会での調査では、令和元年度決算やちよだみらいプロジェクトの見直しと検討を踏まえ、施策の改善やコロナ禍での新規施策や予算計上が確認できた。また、PFIや合築の課題の一部が明らかになり、節目として効果検証の実施やアドバイザーの活用等の答弁があった。今後の経過をオープンにし、全庁挙げて進めることを期待して、賛成する。（小野）

コロナの影響により区民生活は大変であり、大きな不安を抱いている中での予算編成では、小規模事業者緊急経営支援事業、国保料及び介護保険料の負担軽減、また審議を通して女性の貧困対策の推進や代替園庭として公園・児童遊園の整備に向けた実態調査等が確認でき、評価できる。事業執行にあたっては「寄り添い」の姿勢で進めることを望み、賛成する。（米田）

長期に及ぶ感染拡大は健康のみならず経済に大きな影響を与え、区の財政状況も厳しいが、既存事業の見直し等で健全な財政を維持するために努力した。新年度はワクチン接種が本格化することからコロナ収束への期待は膨らむが、今後の不測の事態でも速やかに対応するには、強い財政基盤の維持は不可欠であり、コロナ禍でも健全な財政維持を求め、賛成する。（うがい）

質疑の中で、外神田一丁目地区のまちづくりにおける清掃事務所に關して虚偽でないかと思われる答弁が複数あり、本予算に反対する理由に当てはまるのではないかと思われた。しか

し、今後は常任委員会で引き続き議論を交わし、コロナ禍の非常事態では、他の予算も計上され、区民生活に影響することからやむを得ず賛成する。（岩田）

ワクチン接種、PCR検査費の助成、介護従事者への定期的検査等、区民の健康を考えた予算は評価する。しかし、福祉避難所の運営と支援のあり方やコロナ収束時のシルバートレーニングの再開と拡充等の課題もある。公共施設を含めた再開発は職員コンプライアンスガイドラインを踏まえた対応を求め、住民サービスの円滑化を期待し、賛成する。（長谷川）

本予算は、コロナ対策に目を向けウィズコロナ、アフターコロナを見据え、区民生活を支える点は評価する。また、厳しい財政状況の中、ICT教育や保育の質の向上に対する取り組みや転入者の増加に伴う人口増にも対応された予算でもある。区民の命と健康を守ることを最優先に質の高い行政サービスを継続的、安定的に提供するように求め、賛成する。（西岡）

〈補正予算に対する討論〉

【賛成の意見】

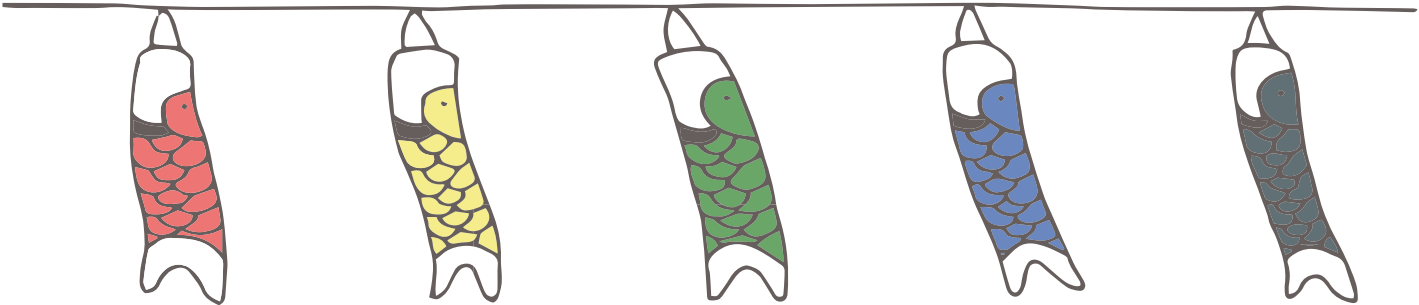
本補正予算では、PCR検査で障害者施設、児童施設で働く職員が対象から外されていることや、償還金払いでの対応で低所得者が利用できない可能性がある。全住民とともに障害者施設、児童施設で働く職員も対象とする自治体もある。そうした取り組みを参考に助成対象の拡大や償還払いの適宜改善を図ることを求め、賛成する。（牛尾）

本補正予算でのPCR検査費助成は、区民の不安の払しょくまたは緊急事態宣言解除後の経済活動活性化に向けた重要な施策である。また、ワクチン接種は供給量や時期等見通せない部分が多いが、正しい情報を区民に提供し、不安なくスムーズに接種できるよう求められている。区民の安全な暮らしのために全庁挙げて対応することを求め、賛成する。（大坂）

各会計予算の規模 (単位：百万円)

会 計 名	令和3年度	令和2年度	増 (△) 減額	増 (△) 減率
一 般 会 計	63,952 *	64,626	△ 674	△ 1.0%
国民健康保険事業会計	5,831	5,726	105	1.8%
介護保険特別会計	4,793	4,317	476	11.0%
後期高齢者医療特別会計	1,897	1,859	38	2.1%
全 会 計 合 計	76,473	76,527	△ 54	△ 0.1%

※同時補正予算（令和3年度一般会計補正予算第1号 1,173 百万円）を含みます。





請願31-2

【反対の意見】

【賛成の意見】

請願書中の新基地建設工事の中止を求める理由に加え、新基地建設の埋め立て土砂は沖縄戦の戦没者の遺骨が眠る沖縄本島南部から調達されようとしており、人道上認められない。日米地位協定の見直しは国民多数の願いであること。米軍に

今定例会では、次の請願1件、議員提出議案1件を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

請願31-2

辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見

常に難しいと判断した。普天間基地は一日も早く辺野古に移設

し、現在の危険な状況を回避すべきと考える。以上のことから、反対する。 (たかざわ)

【賛成の意見】

請願書中の新基地建設工事の中止を求める理由に加え、新基地建設の埋め立て土砂は沖縄戦の戦没者の遺骨が眠る沖縄本島南部から調達されようとしており、人道上認められない。日米地位協定の見直しは国民多数の願いであること。米軍に

持続化給付金及び家賃支援給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が落ち込んだ中小企業や個人事業主等を支援するためのものである。制度対象者が幅広く、補助事業の完了を待たずに資金給付が受けられること等の理由により、高い割合で利用された支援策であるにもかかわらず、2月15日をもって申請が終了した。両給付金の2度目の支給が強く求められており、賛成する。 (岩田)

委員会で取り扱った請願・陳情（令和2年12月26日～令和3年4月16日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請 願 ・ 陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会	審査状況 (令和3年4月16日現在)
千代田区議会議員の定数削減ならびに報酬削減、政務活動費の削減を求める	議会運営委員会	審査終了
神田警察通りで長年育った愛着ある街路樹を残すよう求める陳情	企画総務委員会	継続審査
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	企画総務委員会	継続審査
女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出を求める陳情	地域文教委員会	審査終了

令和3年第1回定例区議会 会期日程〈会期:2/24～3/26までの31日間〉

月/日	本会議・委員会関係日程	月/日	本会議・委員会関係日程
2/24	議会運営委員会	3/12	予算特別委員会(地域文教分科会)(保健福祉分科会)
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)	3/15	文化財保存・活用特別委員会
2/25	議会運営委員会		景観・まちづくり特別委員会
3/3	議会運営委員会	3/16	災害時要配慮者等対策特別委員会
	本会議(代表質問・一般質問)		オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
3/4	議会運営委員会	3/17	議会運営委員会
	本会議(一般質問・議案の付託等)	3/18	予算特別委員会
	予算特別委員会	3/19	予算特別委員会
3/5	企画総務委員会	3/23	企画総務委員会
	保健福祉委員会		保健福祉委員会
3/8	地域文教委員会	3/24	地域文教委員会
3/9	予算特別委員会	3/25	議会運営委員会
3/10	予算特別委員会(企画総務分科会)(地域文教分科会)	3/26	議会運営委員会
3/11	予算特別委員会(企画総務分科会)(保健福祉分科会)		本会議(議案の議決)

12月～2月の主な活動

月/日	日 程	月/日	日 程
12/21	地域文教委員会	2/12	議会運営委員会
12/23	保健福祉委員会		全員協議会
12/25	景観・まちづくり特別委員会	2/15	地域文教委員会
	議会運営委員会		保健福祉委員会
	企画総務委員会	2/16	企画総務委員会
1/15	議会運営委員会	2/17	〈令和3年第1回千代田区議会定例会告示日〉
2/8	災害時要配慮者等対策特別委員会		議会運営委員会
2/9	政務活動費交付額等審査会	2/22	議会運営委員会

議案の審議結果等（令和3年第1回定例区議会）																				可…可決/否…否決/不…不採択 ○…賛成/×…反対/欠…欠席														
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		議 案 名 等	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
								小野なりこ都ファ	岩佐りょう子立憲	長谷川みえこ紡ぐ会	小枝すみ子声	秋谷こうき至誠会	岩田かずひと立民	大坂隆洋自民	うがい友義自民	西岡めぐみ自民	飯島和子共産	牛尾こうじろう共産	木村正明共産	池田とものり自民	山田丈夫自民	永田壮一自民	内田直之自民	たかざわ秀行自民	小林たかや自民	米田かずや公明	大串ひろやす公明	林則行自民	嶋崎秀彦自民	河合良郎自民	桜井ただし自民	小林やすお自民		
議員提出議案	持続化給付金と家賃支援給付金の2度目の支給を求める意見書		24	23	8	15	否	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	3/26	
区長提出議案	令和2年度千代田区一般会計補正予算第5号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	令和3年度千代田区一般会計予算		24	23	19	4	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	令和3年度千代田区国民健康保険事業会計予算		24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	令和3年度千代田区介護保険特別会計予算		24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	令和3年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算		24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	令和3年度千代田区一般会計補正予算第1号		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	公益的法人等への千代田区職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区公共料金支払基金条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区消費生活センター条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例		24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26
	千代田区介護保険条例の一部を改正する条例		24	23	20	3	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26
	千代田区指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区道の道路構造等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	東郷元帥記念公園改修工事請負契約の一部変更について		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区長の給与の特例に関する条例		24	23	22	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26	
	千代田区教育委員会教育長の任命の同意について		24	23	22	1	可	無記名投票													欠	無記名投票					無記名投票					3/26		
	千代田区行政監察員の選任の同意について（2件）		24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	3/26
請願	辺野古新基地工事の即時中止と「日米地位協定」見直しを求める請願書		24	23	7	16	不	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	欠	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	3/4	
報告	令和元年度千代田区各会計歳入歳出決算不認定に係る措置について																										3/4							
◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数25名 ◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ)／千代田至誠会(至誠会)																																		

■ 区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎桜 井 た だ し （自民） 岩 佐 りょう子 （立憲） 西 岡 めぐみ （自民） 山 田 丈 夫 （自民）
○河 合 良 郎 （自民） 長谷川 み え こ （紡ぐ会） 牛 尾 こうじろう （共産） 米 田 か ず や （公明）
小 野 な り こ （都ファ） うが い 友 義 （自民） 池 田 とものり （自民）